

工 事 番 号							
設 計 年 度	令和 6 年度		味瀉雨水排水ポンプ場長寿命化修繕計画作成業務委託（6-1） 設 計 書 公共下水道事業 三原市幸崎能地三丁目				
施 工 月 日	令和 年 月 日						
施 工 方 法	請 負						
工 事 期 間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
雨水排水ポンプ場（分流式） 長寿命化修繕計画作成 一式			仕様書				

味漈雨水排水ポンプ場
長寿命化修繕計画作成業務委託(6-1)

特 記 仕 様 書

令和 6 年度

三原市都市部下水道整備課

【一般仕様書】

総 則

1.1 業務の目的

本委託業務（以下、「業務」という。）では、本仕様書に基づいて、特記仕様書に示す委託対象施設について計画的な更新を実施するに当たり、その根幹となる長寿命化修繕計画を策定することを目的とする。なお、下水道事業ストックマネジメント制度の仕様内容に準拠して業務を進めるものとする。

1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6 秘密の保持等

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1.7 公益の確保の義務

受注者は、業務を行うに当っては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

1.8 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当って、契約書に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

- (イ) 着手届 (ロ) 工程表 (ハ) 管理技術者届 (ニ) 職務分担表
- (ホ) 完了届 (ヘ) 納品書 (ト) 業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

1.9 管理技術者及び技術者

- (1) 受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 管理技術者は、技術士（総合技術監理部門一下水道又は上下水道部門一下水道）の資格を有する者とする。
- (3) 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.10 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.11 成果品の審査及び納品

- (1) 受注者は、成果品完成後に 三原市の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、三原市の検査員の検査をもって、業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただ

ちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.12 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.13 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1.14 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、三原市、受注者協議の上これを定める。

1.15 打合せ

- (1) 業務の実施に当って、受注者は三原市と密接な連絡を取り、その連絡事項をつと記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
- (2) 業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と三原市は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

1.16 実施方針策定基準等

実施方針策定に当っては、三原市の指定する図書及び本仕様書第5章参考図書に基づき業務を行わなければならない。また、設計を行う上で基準となる事項については、三原市と協議の上、定めるものとする。

1.17 実施方針策定上の疑義

実施方針策定上疑義の生じた場合は、三原市との協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

1.18 実施方針策定の資料

実施方針策定の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

1.19 参考資料の貸与

三原市は、業務に必要な下水道事業計画図書、設計図書、竣工図書、土質調査書、測量成果書、下水道台帳及び調書等の資料を所定の手続きによって貸与する。

1.20 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

【特記仕様書】

第1章 業務の対象

長寿寿命化修繕計画は、長期的視点でポンプ場設備の今後の老朽化の進捗状況を考慮し、重要度又は危険度による優先順位づけを行ったうえで、年間事業費の制約を勘案して策定する。

1.1 業務委託の対象

- (1) 名 称 : 味濃雨水排水ポンプ場
- (2) 位 置 : 三原市幸崎能地三丁目地内
- (3) 排 除 方 式 : 分流式
- (4) ポンプ場種類 : 雨水ポンプ場
- (5) 能 力 : 1.67 m³/秒

※ただし、積算における水量については雨水ポンプ場補正率 0.4 を乗じて、0.67 m³/秒を計上している。

第2章 業務の内容

2.1 施設情報の収集・整理

(1) 施設情報収集・整理

設計書や竣工図を参考に、味瀉雨水排水ポンプ場における機械及び電気設備について情報収集し、整理を行う。

- ・既存設備の設置年度、設置業者、設置価格
- ・既存設備の形状寸法、形式、能力、容量、仕様
- ・既存設備の事故・故障記録、修繕履歴、点検調査履歴

(2) 施設情報の作成

施設情報（施設台帳）が作成されていない場合は、収集した施設情報を基に、新たに小分類単位を基にした施設情報（施設台帳）を作成する。（データベースの構築は含んでいない）

施設情報（施設台帳）の内容は、構造、形状寸法、形式、台数、取得価格、設置年度、改築年度、その他の施設情報とし、電子データ化を行う。

(3) 現地調査

整理された情報に基づき、目視による施設の確認を行う。なお、竣工図と現地に差異がある場合は、現地を正として次項以降の更新計画策定作業を行う。

2.2 リスクの評価

長寿命化を効率的・効果的に実践するために、リスク評価による優先順位等を検討し、点検・調査計画及び修繕・改築の策定につなげる。リスク評価では、以下の事項について検討する。

(1) リスクの特定

下水道事業者側に起因するリスクと起因しないリスクを抽出し、施設の点検・調査あるいは改築・修繕で対応するリスクを特定する。

(2) 被害規模の検討

終末処理場・ポンプ場施設において事故・故障が発生しときの被害の大きさを影響度とし、その評価方法を設定して被害規模を検討する。（機能面、能力面、コスト面の総合評価を想定している）

(3) 発生確率の検討

終末処理場・ポンプ場施設における事故・故障の発生確率について、施設情報の蓄積状況等を踏まえて評価方法を設定して検討する。（目標耐用年数を設定し、整理を想定している）

(4) リスクの評価

点検・調査及び改築・修繕計画の優先順位付けに必要なリスクの評価方法を検討する。選定したリスク評価方法を用いて、被害規模の検討と発生確率の検討結果に基づきリスクを評価する。

2.3 施設管理の目標設定

リスク評価を踏まえて、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の効果目標（アウトカム）及び事業量の目標（アウトプット）を設定する。

(1) 事業の目標設定

施設管理に関する目標としては、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）を設定する。

(2) 事業量の目標設定

アウトカムを達成するための具体的な事業量の目標（アウトプット）を設定する。

2.4 長期的な改築事業シナリオの設定

改築に関する複数のシナリオの中から費用、リスク、執行体制を総合的に勘案し、最適な改築シナリオを設定する。

(1) 管理方法の選定

処理場等の能力・系列数、設備台帳、設備の役割、状況等を勘案し、地方公共団体の特性に応じて管理方法を設定する。

(2) 改築条件の設定

最適な改築シナリオを選定するために、各設備の管理方法を考慮したうえで、目標耐用年数による改築時期や改築費用を設定する。

(3) 最適な改築シナリオの選定

リスク評価、施設管理の目標設定を踏まえ、地方公共団体の実情に応じて事業費の平準化を考慮した最適な改築シナリオを選定する。

(4) 長期的な改築事業シナリオのとりまとめ

本項の検討結果を長期的な改築事業シナリオとして取りまとめる。

2.5 点検・調査計画（長寿命化修繕計画）の策定

長期的な視点から更新（改築又は修繕）の優先順位及び設備単位について検討し、事業費を勘案した上で、10年程度で更新を実施すべき設備について計画策定を行う。

(1) 頻度・項目の設定

点検頻度は、過去の点検項目・内容に準じた周期、過去の管理記録やリスク評価等を参考に設定する。健全度を評価するために調査項目を設定する。

調査頻度は、定期的、リスク評価に基づく優先順位等により設定する。

(2) 単位の設定

点検単位は、設備単位とする。調査単位は、修繕・改築等、対策単位を設定する。

(3) 優先順位の設定

耐用年数、老朽度、設備重要度等を勘案し、設備単位毎に優先順位を設定する。

(4) 対象施設・実施時期の検討

設定された優先順位に基づき、10年程度の期間における更新対象設備とその実施時期について検討・整理を行う。

(5) 点検・調査の方法の検討

対象設備の更新方法について、改築又は修繕を設備単位毎に選定する。

(6) 概算費用の算定

更新対象の設備単位毎に改築又は修繕における概算費用を算出する。

(7) 点検・調査計画（長寿命化修繕計画）のとりまとめ

前項までに整理・検討した内容に、市の年間事業費制約を勘案し、最適な更新計画として取りまとめる。

2.6 修繕・改築計画（更新実施計画）の策定

基本方針では、点検・調査結果に基づき施設の劣化状況を把握し、長期的な改築事業のシナリオ設定を踏まえ、事業計画期間を勘案し、概ね5～7年程度における改築の優先順位を設定する。

実施計画では、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、修繕・改築を行うかを検討する。

(1) 診断・対策の必要性の検討

健全度の評価のため、判断基準を設定し、現在の健全度を評価する。また、診断結果及び点検結果

に基づき、対策の必要性を検討する。

(2) 優先順位の検討

機能向上に関する事業など関連計画を考慮して、修繕・改築に関する優先順位を検討する。

また、処理場・ポンプ場設備の優先順位の設定あたり、設備群としてまとめた修繕・改築を実施した方が効率的な場合には、設備群単位で優先順位を調整する。

(3) 対策範囲の検討

基本方針で、対策が必要と位置づけた設備について、修繕か改築かを判定する。

なお、修繕か改築かの判定結果に加え、設備の重要度や最適な改築シナリオの事業費等を考慮して、5～7年の対策範囲を設定する。

(4) 長寿命化対策検討対象設備の選定

管理方法（状態監視保全、時間計画保全、事後保全）を踏まえた、長寿命化対策検討対象設備を選定する。

(5) 改築方法の検討

対策が必要とされた長寿命化対策検討対象設備は、必要に応じてライフサイクルコストの比較を行い、更新あるいは長寿命化対策を選定する。

また、個々の設備の対策に加え、必要に応じ設備群として（省エネルギー、省資源化、効率化等）総合的な検討を行う。

(6) 実施時期と概算費用の検討

対策範囲を踏まえた修繕・改築計画を策定する。

(7) 修繕・改築計画（更新実施計画）のとりまとめ

本項の検討結果を更新実施計画として取りまとめる。

2.7 照査

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

受注者は設計全般にわたり、以下に示す事項について、照査を実施しなければならない。

- ・ 情報収集の内容及び課題の把握・整理内容に関する照査
- ・ 検討方法及びその内容に関する照査
- ・ 計画の妥当性（方針、設定条件等）の照査
- ・ 上位計画、地震対策計画、浸水対策計画、合流改善計画等との相互間における整合性に関する照査

2.8 報告書の作成

本業務で収集した資料、各種検討内容を整理し、報告書として取りまとめる。

2.9 設計協議

本業務に関する打合せ協議を行う。なお、協議回数は、初回、中間1回、最終回の計3回を基本とする。

第4章

4.1 作業内容

作 業 内 容	作業の有・無	備 考
1. 施設情報の収集・整理	☒ ・無	
2. リスクの評価	☒ ・無	
3. 施設管理の目標設定	☒ ・無	
4. 長期的な改築事業シナリオ設定	☒ ・無	
5. 点検・調査計画の策定	☒ ・無	
6. 点検・調査の実施	☒ ・無	
7. 修繕・改築計画の策定	☒ ・無	
8. 関係機関への説明資料作成	有・ ☒	
9. 照査	☒ ・無	
10. 報告書作成	☒ ・無	

4.2 対象工種

施設名	土木	建築	機械	電気
味濃雨水排水ポンプ場			○	○

4.3 補正

補正項目	有・無
設計対象水量に係る補正	☒ ・無
複数施設に係る補正	有・ ☒
沈砂池に係る補正	有・ ☒
処理方式に係る補正	☒ ・無
焼却炉（溶融炉）及び汚泥コンポスト化施設に係る補正	有・ ☒

第5章 提出図書

5.1 提出図書

提出すべき成果品とその部数は次の通りとする。

- | | |
|------------|-----|
| (1) 業務報告書 | 2 部 |
| (2) 打合せ議事録 | 1 式 |
| (3) 電子成果品 | 1 式 |

第6章 参考図書

6.1 参考図書

本業務は、下記に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 三原市の下水道標準構造図
- (2) 三原市の下水道維持管理指針
- (3) 三原市の下水道改築マニュアル
- (4) 下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン（国土交通省）
- (5) 下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（日本下水道協会）
- (6) 下水道施設計画設計指針と解説（日本下水道協会）
- (7) 下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- (8) 下水道施設改築・修繕マニュアル（案）（日本下水道協会）
- (9) 下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-（日本下水道協会）
- (10) 下水道施設の耐震対策指針と解説（日本下水道協会）
- (11) 合流式下水道越流水対策と暫定指針（日本下水道協会）
- (12) 管きょ更生工法における設計・施行管理ガイドライン（案）（日本下水道協会）
- (13) 下水道管路施設ストックマネジメントの手引き（日本下水道協会）
- (14) 下水道用マンホール蓋の維持管理マニュアル（案）（日本下水道協会）
- (15) 下水道管路施設テレビカメラ調査マニュアル（案）（日本下水道協会）
- (16) 下水道管路改築・修繕事業技術資料～調査から施工管理まで～（下水道新技術推進機構）
- (17) 管きょ更生工法の品質管理技術資料（下水道新技術推進機構）
- (18) 管きょ更生工法（二層構造管技術資料）（下水道新技術推進機構）
- (19) 下水道用マンホールのふたの計画的な維持管理と改築に関する技術マニュアル（下水道新技術推進機構）
- (20) 下水道管路施設維持管理マニュアル（日本下水道管路管理業協会）
- (21) 下水道管路施設維持管理積算資料（日本下水道管路管理業協会）
- (22) マンホールの改築及び修繕に関する手引き（案）（日本下水道管路管理業協会）
- (23) 管きょ修繕に関する手引き（案）（日本下水道管路管理業協会）
- (24) 取付け管の更生工法による設計の手引き（案）（日本下水道管路管理業協会）
- (25) 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル（下水道事業支援センター）
- (26) 下水道管路施設改築・修繕に関するコンサルティング・マニュアル（案）（管路診断コンサルタント協会）
- (27) 下水道管きょ改築・修繕にかかる調査・診断・設計実務必携（管路診断コンサルタント協会編集（経済調査会））
- (28) 下水管きょ改築等の工法選定手引き（案）（日本下水道協会）
- (29) 下水道管路施設腐食対策の手引き（案）（日本下水道協会）

設計業務費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
長寿命化修繕計画					Y2C02 レベル1
	1	式			
長寿命化修繕計画					Y2C0214 レベル2
	1	式			
長寿命化修繕計画策定					Y2C021402 レベル3
	1	式			
施設情報の収集・整理					Y2C02140202レベル4
	1	式			
施設情報収集・整理					V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
施設情報の作成					V0002 00
	1	式			単第0 -0002 表
現地調査					V0003 00
	1	式			単第0 -0003 表
リスクの評価					Y2C02140202レベル4
	1	式			

設計業務費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
リスクの特定	1	式			V0004 00 単第0 -0004 表
被害規模の検討	1	式			V0005 00 単第0 -0005 表
発生確率の検討	1	式			V0006 00 単第0 -0006 表
リスクの評価	1	式			V0007 00 単第0 -0007 表
施設管理の目標設定	1	式			Y2C02140202レベル4
事業の目標設定	1	式			V0008 00 単第0 -0008 表
事業量の目標設定	1	式			V0009 00 単第0 -0009 表
長期的な改築事業のシナリオ設定	1	式			Y2C02140202レベル4
管理方法の設定	1	式			V0010 00 単第0 -0010 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
改築条件の設定	1	式			V0011 00 単第0 -0011 表
最適な改築シナリオの選定	1	式			V0012 00 単第0 -0012 表
シナリオ設定のとりまとめ (長期的な改築事業)	1	式			V0013 00 単第0 -0013 表
点検・調査計画のとりまとめ (長寿命化修繕計画)	1	式			Y2C02140202レベル4
頻度・項目の設定	1	式			V0014 00 単第0 -0014 表
単位の設定	1	式			V0015 00 単第0 -0015 表
優先順位の設定	1	式			V0016 00 単第0 -0016 表
対象施設・実施時期の検討	1	式			V0017 00 単第0 -0017 表
点検・調査の方法の検討	1	式			V0018 00 単第0 -0018 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
概算費用の算定	1	式			V0019 00 単第0 -0019 表
点検・調査計画 (長寿命化修繕計画) のとりまとめ	1	式			V0020 00 単第0 -0020 表
修繕・改築計画の策定	1	式			Y2C02140202レベル4
診断・対策の必要性の検討	1	式			V0021 00 単第0 -0021 表
優先順位の検討	1	式			V0022 00 単第0 -0022 表
対策範囲の検討	1	式			V0023 00 単第0 -0023 表
検討対象設備の選定 (長寿命化対策)	1	式			V0024 00 単第0 -0024 表
改築方法の検討	1	式			V0025 00 単第0 -0025 表
実施時期と概算費用の検討	1	式			V0026 00 単第0 -0026 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など 修繕・改築計画のとりまとめ (更新実施計画)	数量	単位	単価	金額	備考
	1	式			V0027 00 単第0 -0027 表
照査	1	式			Y2C02140202レベル4
照査	1	式			V0028 00 単第0 -0028 表
報告書の作成	1	式			Y2C02140202レベル4
報告書の作成	1	式			V0029 00 単第0 -0029 表
設計協議	1	式			Y2C02140202レベル4
設計協議	1	式			V0030 00 単第0 -0030 表
直接人件費					
直接原価					

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
その他原価 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊＊間接原価＊＊					
＊＊業務原価＊＊					
一般管理費等 計算情報…… 対象額……… 率………					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報…… 対象額……… 率………					
業務費計					

参 考 資 料

味湍雨水排水ポンプ場長寿命化修繕計画作成業務委託(6-1)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-06.05.01(0)		《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託		
発注区分	当世代		
	前世代		
	41 建設コンサル		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

施工単価表

頁0 -0008

施設情報収集・整理

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

施設情報の作成

V0002

單第0 -0002 表

頁0 -0009

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

現地調査

V0003

单第0 -0003 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

リスクの特定

V0004

單第0 -0004 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

被害規模の検討

V0005

單第0 -0005 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

発生確率の検討

V0006

單第0 -0006 表

頁0 -0013

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

リスクの評価

V0007

單第0 -0007 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

事業の目標設定

V0008

單第0 -0008 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

事業量の目標設定

V0009

單第0 -0009 表

頁0 -0016

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

管理方法の設定

V0010

单第0 -0010 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

改築条件の設定

V0011

单第0 -0011 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

最適な改築シナリオの選定

V0012

單第0 -0012 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

シナリオ設定のとりまとめ (長期的な改築事業)

V0013

单第0 -0013 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

頻度・項目の設定

V0014

單第0 -0014 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

単位の設定

V0015

單第0 -0015 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

優先順位の設定

V0016

单第0 -0016 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

対象施設・実施時期の検討

V0017

單第0 -0017 表

頁0 -0024

式 当り

[illegible]

施工単価表

点検・調査の方法の検討

V0018

单第0 -0018 表

頁0 -0025

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

概算費用の算定

V0019

單第0 -0019 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

点検・調査計画 (長寿命化修繕計画) のとりまとめ

V0020

單第0 -0020 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

診断・対策の必要性の検討

V0021

單第0 -0021 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

優先順位の検討

V0022

單第0 -0022 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

対策範囲の検討

V0023

單第0 -0023 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

検討対象設備の選定 (長寿命化対策)

V0024

單第0 -0024 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

改築方法の検討

V0025

單第0 -0025 表

頁0 -0032

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

実施時期と概算費用の検討

V0026

單第0 -0026 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

修繕・改築計画のとりまとめ (更新実施計画)

V0027

單第0 -0027 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

照査

V0028

單第0 -0028 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

報告書の作成

V0029

單第0 -0029 表

頁0 -0036

式 当り

[illegible]

施工単価表

設計協議

V0030

單第0 -0030 表

頁0 -0037

式 当り

[illegible]

位置図

味濃雨水排水ポンプ場長寿命化修繕計画作成業務委託 (6-1)
幸崎能地三丁目 (34. 33668, 133. 03773)

